

平成 23 年 1 月 5 日

各 位

会 社 名 浅 香 工 業 株 式 会 社

代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鳶 田 長 秋

(コード番号 : 5962 大証第二部)

問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 本 部 長 藤 田 敏 雄

(T E L 072-229-5137)

平成 23 年 3 月 期 第 3 四 半 期 投 資 有 価 証 券 評 価 損 に 関 す る お 知 ら せ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復の見込みがあると認められないものについて、平成23年3月期第3四半期において減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上をする必要が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期第3四半期における投資有価証券評価損

(A) 平成 23 年 3 月 期 第 3 四 半 期 会 計 期 間 (平 成 22 年 10 月 1 日 から 平 成 22 年 12 月 31 日 まで) の 投 資 有 価 証 券 評 価 損 の 総 額 (= イ - ロ)	25 百 万 円
(イ) 平成 23 年 3 月 期 第 3 四 半 期 累 計 期 間 (平 成 22 年 4 月 1 日 から 平 成 22 年 12 月 31 日 まで) の 投 資 有 価 証 券 評 価 損 の 総 額	75 百 万 円
(ロ) 直 前 四 半 期 (平 成 23 年 3 月 期 第 2 四 半 期) 累 計 期 間 (平 成 22 年 4 月 1 日 から 平 成 22 年 9 月 30 日 まで) の 投 資 有 価 証 券 評 価 損 の 総 額	50 百 万 円

※ 四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。そのため、平成 23 年 3 月 期 の 決 算 に お き ま し て は 、 期 末 日 の 時 価 に よ り 特 別 損 失 の 額 が 変 動 す る 場 合 、 も し く は 特 別 損 失 を 計 上 し ない 場 合 が あ り ま す 。

※ 当社の決算期末は、3月31日です。

○ 純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

(B) 平成22年3月期末の純資産額	2, 201 百 万 円
(A / B × 100)	1. 1 %
(イ / B × 100)	3. 4 %
(C) 最近事業年度の売上高の2%の額 (経常利益基準に係る開示基準の特例) ※ 1	137 百 万 円
(A / C × 100)	18. 3 %
(イ / C × 100)	55. 0 %
(D) 最近事業年度の売上高の1%の額 (当期純利益基準に係る開示基準の特例) ※ 2	68 百 万 円
(A / D × 100)	36. 7 %
(イ / D × 100)	110. 1 %

※ 1 最近事業年度の経常利益の額が、最近事業年度の売上高の2%の額に満たないため、最近5事業年度の経常利益の額の平均の額と、最近事業年度の売上高の2%の額のいずれか大きい額を基準額として記載しております。

※ 2 最近事業年度の当期純利益の額が、最近事業年度の売上高の1%の額に満たないため、最近5事業年度の当期純利益の額の平均の額と、最近事業年度の売上高の1%の額のいずれか大きい額を基準額として記載しております。

2. 今後の見通し

平成23年3月期通期の業績予想につきましては、現在集計中でありますので、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかにお知らせいたします。

以 上